

平成27年4月12日執行  
滋賀県議会議員一般選挙

# 選挙公報

彦根市犬上郡選挙区  
滋賀県選挙管理委員会

## 絆と共感を大切に！安心・安全な町づくりを！

市政・県政・国政と連携し、おせっかいな議員として一生懸命働きます！

びわ湖と共に  
生きる滋賀をめざして  
頑張ります！

### びわこ宣言

三日月知事とともにつくりました。  
これからも協力してまいります。

- ①対話と共感を大切にします。
- ②生活者の視点で行動します。
- ③現場主義で問題解決を図ります。
- ④やさしい頑固者として「一念岩をも通す」で頑張ります。
- ⑤市民派として地域住民の皆さんと共に取り組みます。

**まもる** **守**

マザーレイク/ファザーマウンテン、  
びわ湖と森林を守ります。

**そなえる** **備**

卒原発を基本に再生可能エネルギーを  
進めるとともに防災体制を確立します。

**いきる** **生**

グラウンドゴルフの普及と  
施設整備に取り組みます。

**はたらく** **働**

産業の活性化、中小企業の活性化の  
推進に関する条例の具現化を図ります。

### えばやんの 5つの行動指針

#### ■プロフィール(略歴)

1954年(昭和29年)8月5日生れ  
1973年3月 県立八幡工業高校卒業  
1973年4月 大蔵省印刷局入局(現国立印刷局)  
2005年10月 連合本部雇用法制対策局長等  
2007年8月 連合滋賀議員団会議幹事長  
2012年5月 食とみどりと水を守る県民会議議長

#### ■地域における役割・歴任

・城陽学区人権教育推進協議会会長  
・多景地区社会福祉協議会会長・八坂町自治会長  
・多景地区連合会長・県立八幡工業高校同窓会会長  
■趣味・趣向  
剣道四段、居合道二段、楽器演奏、カレー、お酒少々  
初当選以来、31回質問継続中！  
(H.27年3月現在)



民主党公認 チームしが・連合滋賀推薦  
**えばやん**  
弥八郎 (60歳)

## 今日よりも明日へ

人と環境にやさしい郷土づくりを——情熱・活力・前進

### 母の視点で

- 家庭・地域の絆を大切にみんなで支え合う福祉のまち
- 地域医療を守り元気で長生き
- しあわせな家庭づくりでしあわせな地域づくりを

### 生活者の視点で—地方創生

- 子どもに夢を若者に活躍の場を！学力・体力向上へ環境整備
- 2024年国体を成功させよう
- 湖南偏重より湖東の活性化を！！
- 彦根から中京圏への直通電車の運行を

### 農業者の視点で

- 村よし、人よし、びわ湖よし 環境こだわり農業の支援継続
- 環境保全には水田が必要、JA改革に併せ米の販路拡大を
- 彦根湖岸に道の駅・地産地消で農村に活力を

保守を軸足にした  
湖東の声を届けたい！！  
子育て・介護の経験者  
まじめに こつこつ  
がんばります

#### プロフィール

滋賀県議会議員 2期  
監査委員 前議会運営委員会委員長  
彦根市議会議員 3期 元議長  
元滋賀県指導農業士会会長



自由民主党公認  
**西村久子**

ちから  
力をひとつに！  
**チームしが**  
と、ともに

- ・2024年滋賀国体・全国障がい者スポーツ大会の成功に向けての取り組み！
  - ・元気な地域のために、地域の活性化
  - ・安心して地域で暮らすために、  
防災対策、医療福祉の推進
  - ・未来の子ども達のために、自然を大切に！
  - ・子育て環境・教育環境の推進
  - ・交通環境の整備を！
  - ・県政の透明化
- 大好きな  
彦根・多賀・甲良・豊郷のために  
子ども達の未来のために  
一所懸命  
がんばります！
- 卒原発を  
目指します！

現住所：彦根市  
本 籍：多賀町  
昭和33年 彦根市生まれ  
彦根市立城東小学校卒業  
彦根市立東中学校卒業  
滋賀県立彦根東高校卒業  
京都女子大学家政学部卒業  
多賀創世塾10期生



#### 中沢けいこプロフィール

監査委員、関西広域連合協議会議員  
新老人の会 滋賀支部相談役  
NPO 法人スミス会議 理事  
彦根バドミントン協会 会長  
LLP ひこね街の駅、NPO 法人芹川ほか  
市民団体、ボランティア団体等に所属

三日月知事に協力して  
ともに生きる、元気な滋賀に！

武村県政、嘉田県政、そして、昨夏  
三日月県政にうけつがれた「草の根自治」  
人と自然が大切にされる滋賀が大好きです。  
美しい琵琶湖を育む上流の山の木々  
この大切な自然を子ども達に残したい！  
人々のつながりの中で、心豊かに暮らせる滋賀に！  
三日月知事に協力をして、皆さんと一緒に  
「すべての人に、居場所と出番のある」社会に！

#### ●私たちが中沢けいこを応援しています！

元大蔵大臣 武村 正義  
チームしが代表・前滋賀県知事 嘉田由紀子  
衆議院議員 田島 一成  
元多賀創世塾塾長 小田 全宏

#### ●ブログ



より身近に もっと身近に



フェイスブック 中沢けいこ



民主党公認/連合滋賀・チームしが推薦 56才  
**中沢けいこ**



平成27年4月12日執行  
滋賀県議会議員一般選挙

# 選挙公報

彦根市犬上郡選挙区  
滋賀県選挙管理委員会



**細江まさと**  
昭和21年10月6日生 68歳

自民党公認

議員として、是々非々の判断をします。

批判するのではなく、自分自身の問題として取り組みます。豊富な社会経験を生かし、人間として一つひとつ丁寧に、是々非々の判断をしていきます。

あなたの思いを県政へ

湖東が私の原点です。働く人、暮らす人のためになるかどうか、地域のためになるかどうか。湖東を元気にして滋賀を元気にするために、あなたの思いを県政に届けます。

女性の活躍、子どもの安全・安心のまちを

女性が輝き活躍できる仕組みづくりを進め、子どもの学力向上を図り、安全・安心のまちを造りましょう。

滋賀国体・東京五輪を契機に地方創生を

人口減少を見据えて、交流人口を増やす。国体が到達点ではなく、ソフト・ハードの品格あるまちづくりを進め、死ぬまで元気な健康長寿社会をつくる市民活動を、国・県を繋いで応援します。

獣害対策と森林政策、定住自立圏構想への支援

産業としての森林政策と広域での獣害対策の徹底。多様な移動サービス、公共交通、病診在宅連携の医療介護、包括ケアシステムの構築。多賀スマートインターチェンジ、拠点図書館の整備など広域諸課題の解決へ県からの支援を訴えます。

湖東を  
元気に!



## 略歴

彦幼、城西小、西中、彦根東高13回卒  
昭和45年京都産業大学経済学部卒業  
あなたの本棚 天童堂 前代表取締役  
滋賀教科図書販売株式会社 取締役

## 団体役員

青年団活動から(社)彦根青年会議所役員を経て、現彦根ロータリークラブ会員

## 公職

【元職】彦根幼稚園・城西小学校・西中学校・彦根西高等学校 PTA会長／彦根東高等学校 学校評議員／中小企業大学校登録講師／滋賀県書店商業組合副理事長／彦根市議会議員／彦根市都市計画審議会委員／滋賀県議行財政対策特別委員会委員長

【現職】彦根商業開発協同組合(ビバシティ専門店街) 理事長／金亀会会長／湖東定住自立圏共生ビジョン懇談会委員／滋賀県議会議員／滋賀県都市計画審議会委員／自由民主党城西支部長

## 国保料引き下げ、「戦争への道 ストップ」の願いを託してください



日本共産党  
**中川**  
むつ子

わたしはこの4年間、毎月彦根駅前「被災地救援活動」を続けてきました。また、住民アンケートをおこない、それをもとに地域の要求実現や、国保料を引き下げる運動にとりくんできました。そのなかで、多くのみなさんから「原発はいらない」「高すぎる国保を何とかして」と切実な要望が寄せられました。しかし、これらの声は共産党県議がいなかったため、議会に届いていません。わたしは彦根・犬上の声をまっすぐ県政に届け、みなさんの願いを実現するために全力をあげます。

「戦争を許さない」の一票を

日本共産党に託してください

自民党安倍内閣は、いつでもどこでも、どんな戦争にも自衛隊を派兵し、戦闘地域で武力行使ができる法律を、5月に提案・成立させようとしています。日本共産党は92年間、命がけで戦争反対を貫いてきました。「戦争を許さない」の一票を日本共産党・中川むつ子に託してください。

彦根・犬上の声をまっすぐ県政に

- ◆中学生まで医療費無料(県制度で)
- ◆国保料の引き下げ
- ◆住宅・商店街リフォーム助成制度
- ◆特養、保育所の増設
- ◆抜本的な河川改修
- ◆消費税10%中止
- ◆高浜原発再稼働ノー
- ◆TPP交渉撤退



ブログ <http://d.hatena.ne.jp/muchan3311/>

成功させよう!  
ひこね国体2024  
I CAN DO IT! 私ならできる!



無所属

おおの和二郎

わさぶろう

もっと笑顔で もっと元気!



○農業・林業・漁業の活性化を図り  
元気な“しが”をつくります。  
(特産品開発(環境にだわり農産物)  
高取山公園の整備)

○インフラ整備を進め地域観光の  
促進と企業誘致で、自立できる  
“湖東”をつくります。(多賀町ス  
マートIC・国、県道整備等)

○子育て・教育・  
医療・福祉・介護  
施策の充実と支援  
強化で、暮らしの  
安全、安心の  
“しが”をつくります。



○次世代を生きる子どもや孫たちの  
ために、少子高齢社会を乗り切る  
ためにも道州制、市町合併の推進  
に全力を尽くします。